

ベンチャーキャピタリスト



日本テクノロジーベンチャーパートナーズ
投資事業組合代表

村口 和孝

personal history

1958年生まれ。慶應義塾大学卒業後ジャフコ入社、数々の企業を株式公開させた。98年独立、日本初の投資事業有限責任組合を設立。

ベンチャー支援チームは今、鳴りをひそめている状況だ。ベンチャーを取り巻く環境は一、二年前とはまったく違う。そうした環境の変化に対して、村口氏は「事業計画の書き直しをやって、むしろ焼け太るくらいになれ」と呼びかけている。

独立系ベンチャー・キャピタリストとして、村口和孝氏は常に名が挙げられる存在だ。あるベンチャーの社長は「本当に頼りにしている」と言い、またある公開企業の社長は「初めて会った時から人生や哲学の話をしてきた」という。投資先には無償でアドバイス、これはVCの基本だ。大きな事業を考え、独立したい人が相談できる相手というのは、なかなかないものだ。見込みがあると判断すれば、村口氏は投資をし、その相手となる。村口氏に出会い多額の投資を得て、スビーディに事業を軌道に乗せた例は多い。

新たな産業を促進し
スヒンアウトをサホートする
実力派キヤヒタリスト